

「きょうたんご共創ラボ」民間提案制度で連携が成立！ トライアル事業「体験から共感、そしてふるさと住民へプロジェクト」の 第一弾として地方創生体験ツアーが開催されます！

人口減少や少子高齢化、市民ニーズの多様化などにより、行政に求められる役割がこれまで以上に複雑・高度化している中、必要な公共サービスを持続的に提供し、地域課題の解決に向けた取組を進めるため、京丹後市では、令和 7 年 8 月 1 日から新たな事業分野、新たな事業手法による民間活力のさらなる導入を目的に「きょうたんご共創ラボ」民間提案制度を開始しました。

このたび、**民間提案制度で提案（テーマ型：京丹後ふるさと住民創出プロジェクト）を受け、トライアル事業として公民連携で取り組む「体験から共感、そしてふるさと住民へプロジェクト」の第 1 弾として、地方創生体験ツアーが開催**されますのでお知らせします。

1 概要

日 時： 令和 8 年 7 月 20 日（月・祝）11 時 00 分から 17 時 30 分まで

参加者： 主に京阪神在住の大人 14 人、子ども 9 人（うち車椅子利用者子ども：1 人）※計 23 人
※7 月 15 日時点、最終確定日は 19 日（日）

2 主な行程

着	発	行程
	11 時 00 分	豊岡駅出発（貸切大型バス）
12 時 00 分	13 時 00 分	昼食（会場：万助桜）：丹後ばら寿司
13 時 15 分	13 時 45 分	琴引浜鳴き砂文化館：鳴き砂に関する説明、見学
13 時 50 分	14 時 30 分	琴引浜（海水浴場）：鳴き砂体験
15 時 00 分	16 時 00 分	丹後織物工業組合（TANGO OPEN CENTER） ・丹後ちりめんに関する説明、見学、くるみボタンづくり体験など ・京丹後ふるさとアンバサダー任命書の交付
16 時 30 分	17 時 00 分	道の駅くみはまサンカイカン（豊岡駅 17 時 30 分着予定）

3 公民連携事業「体験から共感、そしてふるさと住民へプロジェクト」

概 要 きょうたんご共創ラボ民間提案制度のテーマ型「京丹後ふるさと住民創出プロジェクト」に対して下記事業者から提案があり、対話を経て、連携が成立したことを受け、トライアル事業として公民連携により実施するもの。

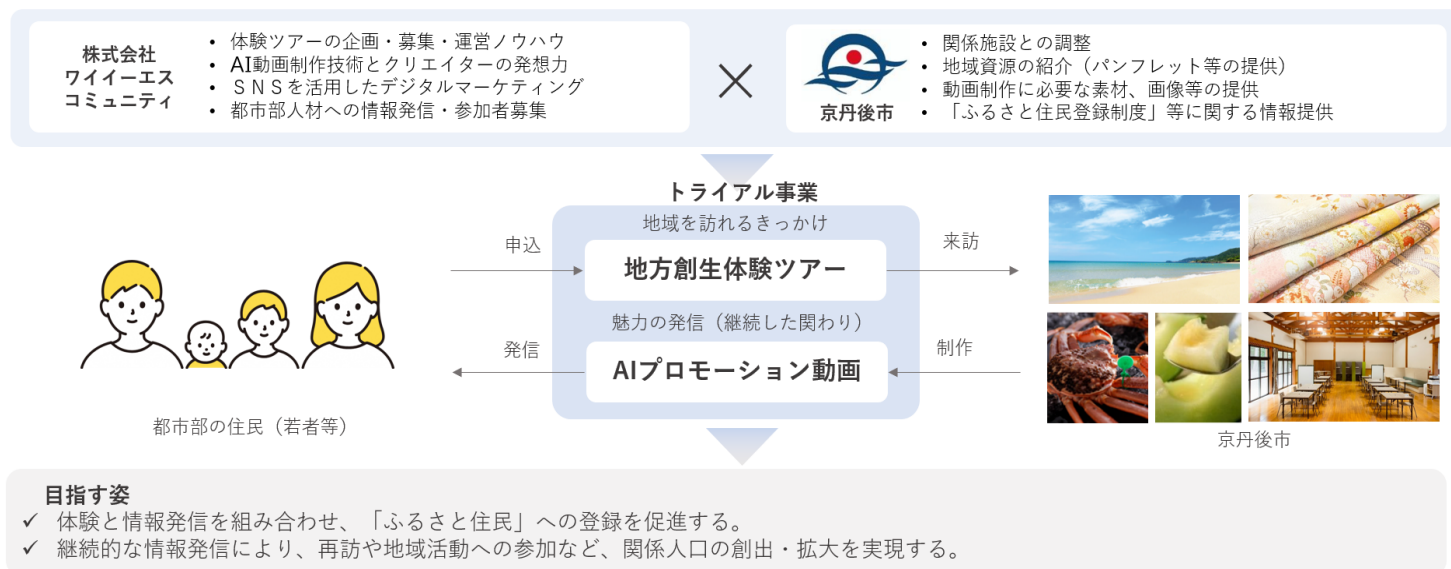
事業名 「体験から共感、そしてふるさと住民へプロジェクト」
～体験型ツアーと AI 動画クリエイターによる情報発信による関係人口創出モデル～

提案者 株式会社ワイイーエスコミュニティ（代表取締役社長 山中恵美子）

内 容 （１）地方創生体験ツアーの実施
（２）AI 動画クリエイターによるプロモーション動画制作
（３）関係人口の継続的な創出

4 トライアル事業の詳細

京丹後市の魅力を効果的に発信し、地域を訪れるきっかけづくりから来訪後の継続的な関わり、国が導入を検討している「ふるさと住民」への登録までを一体的につなげる仕組みが十分に構築されていないことが課題となっている中、**地方創生体験ツアーやAI動画クリエイターによるプロモーション動画の制作を通じて、京丹後市の自然・文化・食・産業の魅力を広く発信**する。「体験」「情報発信」「継続的な関係づくり」を組み合わせることで、地域のファンを創出し、「ふるさと住民」への登録や継続的な関わりを促進し、関係人口の創出・拡大を図る。



(1) 内容

① 地方創生体験ツアーの実施

都市部住民を対象とした体験型ツアーを実施し、京丹後市の魅力発信と「ふるさと住民」の登録促進を図る。

② AI動画クリエイターによるプロモーション動画制作

AI動画クリエイターと連携し、プロモーション動画を制作・発信して情報発信力の向上を図る。

③ 関係人口の継続的な創出

ツアー参加者等へ継続的な情報発信を行い、京丹後市における「ふるさと住民」の登録と関係人口の創出・拡大を図る。

(2) 導入する民間活力（資源・スキル）

- ・ 民間事業者による体験ツアーの企画・募集・運営ノウハウ。
- ・ AI動画クリエイター養成スクールによるAI動画制作技術とクリエイターの発想力。
- ・ SNS等を活用したデジタルマーケティング・情報発信力。
- ・ 民間ネットワークを活用した都市部人材への情報発信・参加者募集。

(3) 期間

令和8年7月～令和8年12月

(4) 目指す姿

- ・ 体験と情報発信を組み合わせ、「ふるさと住民」への登録を促進する。
- ・ 継続的な情報発信により、再訪や地域活動への参加など、関係人口の創出・拡大を実現する。

(5) 全体スケジュール（予定）

令和 8 年 7 月 20 日	地方創生体験ツアー（詳細は別紙 1 をご覧ください）
令和 8 年 8 月以降	AI 動画クリエイターによるプロモーション動画制作
令和 8 年 12 月以降	トライアル事業終了、効果検証

5 現状の取り組みと課題

京丹後市では、「ふるさと住民」制度の導入を見据え、関係人口の創出・拡大に向けた取組を進めている。一方で、地域を訪れるきっかけづくりや、来訪後も継続して地域と関わる仕組み、若年層を含む幅広い世代へ京丹後市の魅力を効果的に発信する手法が十分とは言えず、「ふるさと住民」への登録や継続的な関わりにつなげる取組の強化が課題となっている。

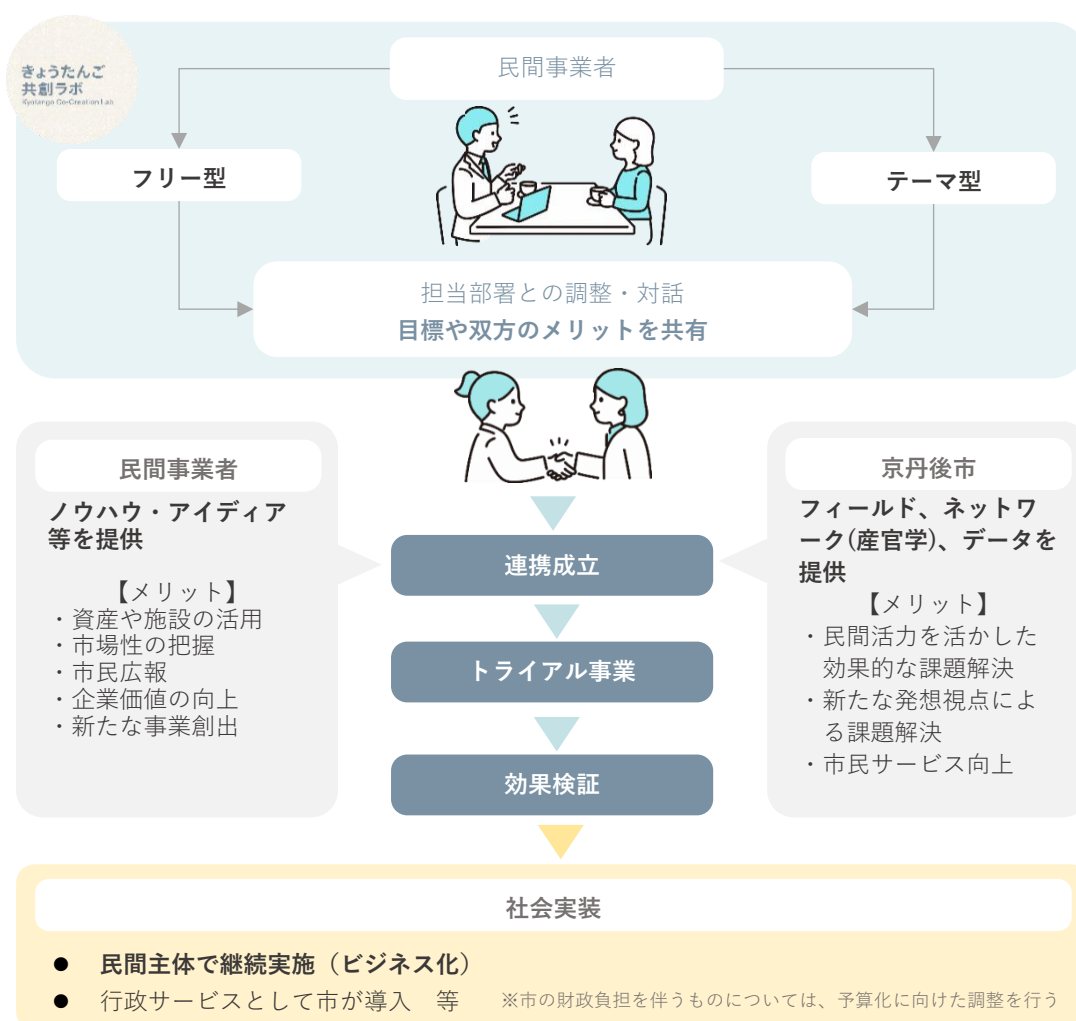
本件に関する問い合わせ先

京丹後市 市長公室 政策企画課

Tel: 0772-69-0120 / E-mail: kikaku@city.kyotango.lg.jp

「きょうたんご共創ラボ」民間提案制度について

- 1 目的 民間活力の導入により課題解決を促進し持続可能なまちづくりを進める
- 2 提案制度 フリー型とテーマ型の2つの形態で民間事業者からの提案を募集
 - ◇ フリー型：民間事業者の自由な発想やノウハウを活かした提案
 - ◇ テーマ型：市が提示したテーマ(課題)に対する提案(WEB サイト公開)
- 3 事業の進め方
 - ☞ 民間事業者からの提案は、連携の可否を総合的に判断し、連携が事業として成立した場合は、トライアル事業(実証実験や具体的実践)を実施
 - ☞ トライアル事業として、十分な効果が認められた事業については、民間主体での継続実施(ビジネス化)や行政サービスとして導入などにより社会実装を目指す。
※市の財政負担を伴うものについては予算化に向けた調整を行う。
- 4 トライアル事業に対する市の支援
 - ☞ 市の広報媒体(市 HP、広報誌など)を活用した広報支援を行います。
 - ☞ 実証・実践に必要なフィールド、データ、関係団体・地域団体などの市のネットワークを提供します。



民間提案制度のながれ